



令和5年度2月29日号

校訓 ともに高め合う

心豊かな

実行の人

## 一年の締めくくりに向けて

2月も今日で終わり、いよいよ3月です。中学校生活は3年間。この時期には3年生から、「あっという間の3年間だった」と、よく耳にします。

中学校3年間の成長は身体の成長だけではありません。自己の内面にある心の成長は、身体の成長以上に大きいものです。考え方が「子ども」から「大人」に成長します。日々新しい経験を積み、考えを深め、視野を広げ、自分のことをより客観的に見ることができるようにもなります。自立に向かって、悩み苦しむこともしばしばです。

大きく成長する中学校3年間だからこそ、みなさんには一年一年を、そして一日一日を大切にしてほしいと、強く願います。

それぞれの学年が終わろうとしている今、この一年間を振り返り、自分の成長した部分を自覚し、さらに伸ばしていきたいところを見つめる時間を持つてほしいと思います。次の一年へのビジョン(未来像や見通し)を思い描いてください。

「自分の〇〇を成長させるため、△△を続けていこう」など、できるだけ具体的に考えてみてください。

## 竹のお話

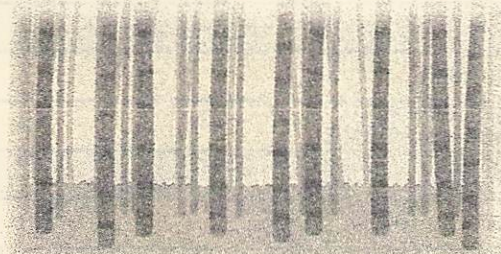
1本の竹には、約60の「節」があり、その一つ一つの「節」に成長点があるそうです。

仮に、1つの「節」が竹を10cm伸ばすとすると、2つの「節」で20cm、3つの「節」があれば30cmも成長するということです。竹にとって、その成長のために「節」はとても大事な部分なのです。

また、竹は、どんなに強い風に押し倒されても、折れることなく、また起き上がって成長を続けます。竹よりもはるかに太い幹の大木が嵐で倒されたとしても、その隣で高く伸びた竹は、折れることなく生きているのです。

このように、しなやかに曲がって元に戻ることができるのも、その「節」の間隔が、根元が狭く、上に行くにつれて広くなり、さらに先の方になると、根元同様に狭くなっているからだそうです。

人は、望む、望まないに関らず、人生の中で多くの「節目」に出会います。苦しい状況や辛い目、ときには嬉しいこと、誇らしいことにも遭います。



卒業もまた、人生の一つの「節目」です。そこから、みなさん一人ひとりの人生の新しい芽、未来への希望、夢が芽吹きます。

1・2年生のみなさんにとっても、3年生の卒業は「節目」です。それぞれが1つ上の学年の自覚を持ち、一段と成長するきっかけ、芽ぶきとしてください。

## 最後の授業 卒業証書授与式

私は、3年生のみなさんとのふれあいは1年足らずでしたが、体育祭、文化祭ではリーダー学年の意識をもって行事を盛り上げてくれました。みなさんとともに学校づくりができたことに、心から感謝します。



そんな3年生のみなさんも、いよいよ最後の授業、卒業証書授与式を迎えます。

卒業証書授与式は、大塚中学校が保護者の皆様からお預かりしたみなさんに、中学校の課程をしっかりと修めましたという証明書を交付する式です。

地域の方々の代表でもある学校運営協議会の皆様にも、ご来賓として式にご臨席いただき、みなさんの門出を祝福していただきます。

1年生のみなさんには、残念ながら、式に参加してもらうことができませんが、先輩たちの新たなステージへの巣立ちを心の中でお祝いしてください。

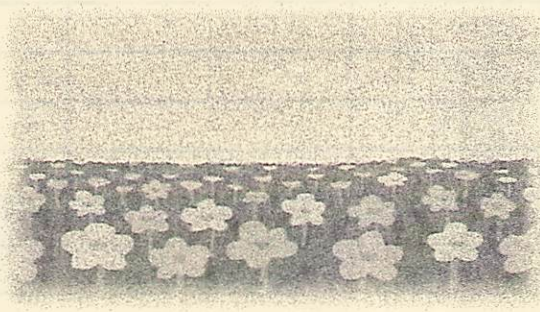
卒業という節目に、いつもの当たり前に目を向けてみてください。

### 『ありがとう』 谷川俊太郎

空 ありがとう  
今日も私の上に来てくれて  
曇っていても分かるよ  
宇宙へと青くひろがっているのが



花 ありがとう  
今日も咲いていてくれて  
明日は散ってしまうかもしれない  
でも匂いも色ももう私の一部



お母さん ありがとう  
私を生んでくれて  
口に出すのは照れくさいから  
一度っきりしか言わないけれど

でも誰だろう 何だろう  
私に私をくれたのは？  
限りない世界に向かって私は呟く  
私 ありがとう